

# 【仮称】新産業振興指針(案)の概要

## 指針策定の背景

策定から9年が経過した「産業革新戦略」は、ニッチトップ企業の倍増(40社から73社に増加)や、進出・増設企業の増加(41社)など一定の成果をあげた。一方、リーマンショックで顕在化されたようにグローバル化は加速し、外部環境から受ける影響が増大。県内では、能登有料道路の無料化や北陸新幹線金沢開業など陸・海・空の交流基盤が大幅に充実。こうした状況変化を踏まえ、国の成長戦略が策定された中、本県においても、新指針を策定。

## 基本的視座

- 今後10年間を見据える
- 全産業ともビジョンやプランに基づき着実に推進。本戦略では、特に、県外需要の獲得につなげるため本県の経済成長への寄与が大きい第二次産業にフォーカスする(他産業との連携も視野に入れる)
  - 第一次産業 攻めの農林水産政策(成長産業化)へと国の政策が変革期にある → 『いしかわの食と農業・農村 ビジョン』(平成18年策定)を着実に実行。コマツなどとの連携を契機に、収益力の高い産業へと変革。
  - 第二次産業 県外需要の獲得により、本県経済の成長(県民総生産)に寄与 → 他産業との連携も視野に入れつつ、本指針でフォーカス。基幹業種は機械、繊維、食品、ITの4業種。
  - 第三次産業 交流人口が増加する北陸新幹線開業は千載一遇のチャンス → 『新幹線開業PR戦略実行プラン(平成25年策定)』、『新ほっと石川観光プラン(平成23年改定)』を着実に実行。
- 陸・海・空の交通インフラは、県民の生活やあらゆる産業活動の基盤インフラであり、整備・充実を着実に推進
- 地域の強みを活かし、内外の環境変化に対応し、持続的に発展していく。

## 本県の強み

- 製造業の集積
  - 製造業特化係数1.33
  - 繊維産業、生産用等の機械産業の集積が高い。
- ニッチトップ企業の集積
  - 73社(2014年3月)
  - グローバルニッチトップ企業数全国4位(2013年度)
- 高等教育機関の集積
  - 人口当たりの高等教育機関数が全国第2位
- 国の超大型研究開発拠点
  - 革新複合材料研究開発センター(ICC)
  - 北陸StarBED技術センター
- 豊富な地域資源
  - 地域団体商標件数全国3位
  - 国指定伝統工芸品数全国6位
  - 世界農業遺産や食文化
- 比較的安価な電力と低い大規模地震リスク
  - 安価な電力
  - 低い大規模地震リスク
- 3大都市やアジアへとつながる交通インフラ
  - 港湾、空港、新幹線、高規格道路の整備進展

## 今後10年を見据えた環境変化

- 総人口・生産年齢人口の減少による国内市場の停滞
  - 国内人口は560万人減
  - 消費者ニーズの多様化
- 新興国等の海外市場の成長
  - アジア等の新興国市場の拡大
  - 企業の海外投資・拠点数の増加
- 成長市場の拡大・新技術の出現
  - 環境(炭素繊維材料等)、ライフ分野等の新市場の拡大
  - 新たな革新技術、成長市場の出現
- グローバル化の進展
  - 原料・エネルギー費高騰
  - 製品価格低下
  - 為替や外需の影響増大
  - 貿易協定の増加
- 高齢化と新陳代謝の進展
  - 設備の老朽化の進行
  - 経営者の高齢化の進行
  - 全国的な創業気運の高まり
  - 全国的な産業構造の変化
- 県内の生産年齢人口の減少
  - 本県の生産年齢人口が6割弱へ
  - 高齢人口が3割強へ
  - 県総人口も6%低下

(参考)県内企業のアンケート結果(機械、繊維、食品、IT、伝統工芸、サービス業等の約1000社)

- 経営に影響を与える環境変化
  - ①製品単価低下、②国内市場の停滞、③為替変動
- 行政に期待すること
  - ①新製品・新技術開発支援、②人材育成・確保支援、③販路開拓支援
- 今後の海外展開の候補地
  - 東南アジア(インドネシア、タイ、シンガポール、ベトナム等)が過半数。

## 今後の施策の柱と具体的な取り組み

新製品開発による新規需要の創出	国際展開の拡大	次世代産業の創造	地域の強みの活用	戦略的企業誘致の推進	事業基盤の強化	産業人材の総合的育成・確保
<p>産学の集積を活かし、国内市場が停滞し製品価格が低下しても、新製品開発や販路拡大、新分野展開、創業により、付加価値・新規需要を創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新製品開発の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 製品開発支援の拡充</li> <li>- 産学官連携の場の創出</li> </ul> </li> <li>○ 販路拡大の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 受注懇談会や商談会開催</li> <li>- 展示会出展等の支援</li> </ul> </li> <li>○ 新分野展開の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 基幹4業種の新分野展開支援</li> </ul> </li> <li>○ 創業の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- ベンチャー支援の拡充</li> </ul> </li> <li>○ 消費者ニーズの開拓               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新たな視点の製品開発支援</li> </ul> </li> </ul>	<p>陸、海、空の整備進展を活かし、県内の雇用確保を両立しつつ、新興国等の海外市場の成長を取り込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業の裾野拡大               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 相談体制の強化</li> <li>- 海外市場の調査支援</li> </ul> </li> <li>○ 輸出拡大               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 輸出挑戦企業の集中的支援</li> <li>- 展示会等への出展支援</li> </ul> </li> <li>○ 海外現地需要の獲得               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商談会等の開催支援</li> <li>- 県海外事務所による支援</li> </ul> </li> <li>○ 海外ネットワークの拡大               <ul style="list-style-type: none"> <li>- シンガポール事務所設置</li> </ul> </li> </ul>	<p>産学の集積や国のイノベーション拠点を活かし、新技術に迅速に対応しつつ、成長市場を獲得し、次代の一翼を担う産業を新たに創造する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業の裾野拡大や研究開発の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- セミナー・研究会等の開催</li> <li>- 革新的な研究開発支援</li> <li>- 研究者の確保・育成支援</li> </ul> </li> <li>○ 事業化の加速               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 川下企業等とのマッチング支援</li> </ul> </li> <li>○ 新技術への迅速な対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 工業試験場の機能強化</li> </ul> </li> <li>○ 国事業等を活用した革新的な研究開発の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- COI事業等の推進</li> </ul> </li> </ul>	<p>ニッチトップ企業の集積や豊富な地域資源、3大都市やアジアにつながる交通インフラなどの地域の強みを伸ばし活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニッチトップ企業の増加・育成の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- ニッチトップ企業等の支援</li> </ul> </li> <li>○ 新製品開発の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 伝統工芸等の地域資源を活用した製品開発の支援</li> </ul> </li> <li>○ 食文化等の発信               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 戦略的な食文化発信</li> </ul> </li> <li>○ 交通インフラを活用した円滑な外需獲得の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- クルーズ船誘致</li> <li>- コンテナ貨物の集荷強化</li> <li>- アンテナショップの情報発信</li> </ul> </li> </ul>	<p>安価な電力や低い大規模地震リスク等の優位性や里山里海など地域の特性を踏まえ、戦略的に企業を誘致し、産業構造の複層化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 戦略的企業誘致の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 助成制度の見直し</li> <li>- 里山里海などの地域特性を考慮したきめ細かい誘致活動の展開</li> </ul> </li> <li>○ 設備投資の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 増設等の設備投資支援</li> </ul> </li> </ul>	<p>原料費等の高騰に対しては生産性向上を、設備や経営者の高齢化に対しては設備投資や円滑な事業承継を推進する。また、円滑な資金調達によりセーフティネットの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営の強化や生産性向上によるコスト削減               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 専門家派遣</li> <li>- 生産技術高度化の支援</li> </ul> </li> <li>○ 円滑な資金調達等のセーフティネットの充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 十分な制度融資枠の確保</li> <li>- 再生支援プログラム</li> </ul> </li> <li>○ 円滑な事業承継の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 事業承継相談体制の充実</li> </ul> </li> </ul>	<p>本県生産年齢人口の減少に対し、人材の確保・育成を強力、かつ総合的に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成長を切り拓く人材の確保・育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高度専門人材の確保・育成支援</li> <li>- 短期海外研修の支援</li> </ul> </li> <li>○ 成長基盤を強化する人材の確保・育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 次代の経営者育成</li> <li>- 現場 技能人材の確保・育成支援</li> <li>- 女性等の活用を促進</li> </ul> </li> <li>○ 明日の産業を担う人材の確保・育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>- インターンシップの充実等による新規採用支援</li> </ul> </li> </ul>

指針の推進 産学官で連携し3つの好循環を実現: ① 人材の集積を高め、技術を磨き、市場を獲得し、更なる集積へ。② 挑戦を後押し更なる挑戦へ。③ 成長シーズを地方と国で連携して大きく。